

F. 健康危険情報

なし。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし。

2. 学会発表

なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

## II. 分担研究報告

歯科医師の医科麻酔科研修の実態に関する研究

(歯科医師受け入れ施設を対象として)

(資料) 歯科医師の医科麻酔科研修に関するアンケート内容及び結果

(歯科医師受け入れ施設を対象として)

## アンケート内容（歯科医師受け入れ施設）

歯科医師の医科麻酔科研修に関するアンケート  
(歯科医師受け入れ施設用)

貴施設名 : \_\_\_\_\_

講座 (分野・科) 名 : \_\_\_\_\_

ご記入者名 : \_\_\_\_\_

ご記入者連絡先電話番号 : \_\_\_\_\_

ご記入者連絡先 Fax 番号 : \_\_\_\_\_

ご記入者 e-mail : \_\_\_\_\_

- ・アンケート回収後、内容について確認をさせていただくことがあるかもしれませんので、差し支えなければ電話番号、Fax 番号、E-mail アドレスもご記入ください。
- ・次ページ以降の各アンケート項目について、あてはまるものに○をつけてください。
- ・一部の項目は複数回答可能です。
- ・項目によっては、必要に応じて ( ) 内に回答をご記入下さい。

1. 施設の概要

1) 貴講座（分野または科）の現状についてお答えください。

(1) 大学

- |        |          |           |          |
|--------|----------|-----------|----------|
| a) 教授  | : _____名 | f) 大学院生   | : _____名 |
| b) 准教授 | : _____名 | g) 研究生等   | : _____名 |
| c) 講師  | : _____名 | h) 非常勤講師等 | : _____名 |
| d) 助教  | : _____名 | i) その他    | : _____名 |
| e) 医員  | : _____名 |           |          |

(2) 一般病院

- |        |          |
|--------|----------|
| a) 部科長 | : _____名 |
| b) 医長  | : _____名 |
| c) 医員  | : _____名 |

常勤者 : \_\_\_\_\_名 (医師 : \_\_\_\_\_名 歯科医師 : \_\_\_\_\_名)

日本麻酔科学会指導医 : \_\_\_\_\_名

日本麻酔科学会専門医 : \_\_\_\_\_名

日本麻酔科学会認定医 : \_\_\_\_\_名

麻酔科標榜医 : \_\_\_\_\_名

医科麻酔科研修歯科医師 : \_\_\_\_\_名

2. 歯科医師の医科麻酔科研修

1) 過去5年間に於いて歯科医師の医科麻酔科研修を受け入れた実績がありますか。

- a) ある。
- b) ない(過去5年より前に受け入れた実績がある場合を含む)。

b)の場合、その理由(\_\_\_\_\_)

2) 現在の受け入れ施設名と研修期間を記入してください。

(「全日」には週1日程度の外勤日等を含みます)

(1) 歯科大学・歯学部歯科麻酔学講座

a) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

b) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

(2) 歯科大学・歯学部歯科口腔外科講座

a) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

b) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

(3) 歯科大学・歯学部のその他の講座

a) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

b) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

(4) 医科大学・医学部歯科口腔外科講座

a) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

b) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

(5) 一般病院歯科口腔外科

a) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

b) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

(6) その他の施設

a) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

b) 施設名: \_\_\_\_\_  
期間: \_\_\_\_\_か月 当該期間中の 全日/週に(\_\_\_\_\_)日

- 3) 研修実施にあたって研修施設への研修願の提出等はどのように行っていますか。
- 派遣施設の施設長または所属長と受け入れ施設の施設長とが文書で。
  - 派遣施設の施設長または所属長と受け入れ施設の所属長とが文書で。
  - 派遣施設の所属長と受け入れ施設の所属長とが口頭で。
  - その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 4) 医科麻酔科研修を受ける歯科医師の貴施設での立場はどれですか。
- 研究生等 (学費・研修費等を支払う立場)
  - 医員等 (月給・日当等を受ける立場)
  - 研修者 (無給者)
  - その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 5) 一年間の平均の医科麻酔科研修を受ける歯科医師数についてお答えください。
- 1名
  - 2名
  - 3名
  - 4名
  - 5名以上
- 6) 現状における医科麻酔科研修の開始年次はいつですか (複数回答可)。
- 歯科医師免許取得後1年目
  - 歯科医師免許取得後2年目
  - 歯科医師免許取得後3年目
  - 歯科医師免許取得後4年目
  - 歯科医師免許取得後5年目
  - 歯科医師免許取得後6年目以降
- 7) 現状において医科麻酔科研修を行う歯科医師が研修開始時に有している麻酔に関する基本的知識・技能のレベルはどれですか。
- 一定水準に達しているが、研修により更なる知識・技能の向上が期待できるレベル
  - 基本的な知識・技能を有しているが、初歩からの研修が望ましいレベル
  - 厳格な指導・監督が必要と思われるレベル
- 8) 具体的にはどの程度のレベルですか。
- |                  |         |     |          |
|------------------|---------|-----|----------|
| a) 全身状態評価        | ・かなりできる | ・普通 | ・かなりできない |
| b) 全身管理の基本的知識・技能 | ・かなりできる | ・普通 | ・かなりできない |
| c) 全身麻酔          | ・かなりできる | ・普通 | ・かなりできない |
| d) 救急患者への対応      | ・かなりできる | ・普通 | ・かなりできない |
| e) その他 ( _____ ) |         |     |          |

9) これらのレベル評価について記録を残していますか。

- a) 個人ごとに評価し、文書で残している。
- b) 個人ごとに評価するが、文書では残していない。
- c) 評価していない。
- d) その他 ( \_\_\_\_\_ )

1 0) 医科麻酔科研修の開始年次について理想と思われる時期はいつですか。

- a) 歯科医師免許取得後 1 年目
- b) 歯科医師免許取得後 2 年目
- c) 歯科医師免許取得後 3 年目
- d) 歯科医師免許取得後 4 年目
- e) 歯科医師免許取得後 5 年目
- f) 歯科医師免許取得後 6 年目以降

その理由 ( \_\_\_\_\_ )

1 1) 医科麻酔科研修を行う歯科医師が研修開始時に有している麻酔に関する基本的知識・技能について理想と思われるレベルはどれですか。

- a) 一定水準に達しているが、研修により更なる知識・技能の向上が期待できるレベル
- b) 基本的な知識・技能を有しているが、初歩からの研修が望ましいレベル
- c) 厳格な指導・監督が必要と思われるレベル

その理由 ( \_\_\_\_\_ )

1 2) 医科麻酔科研修で修得させたい項目は何ですか (複数回答可)。

- a) 全身状態評価
- b) 全身管理の基本的知識・技能
- c) 全身麻酔
- d) 硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔
- e) IVH、Swan-Ganz カテーテル等の操作
- f) ICU における呼吸・循環管理
- g) 神経ブロック
- h) 救急患者への対応
- i) その他 ( \_\_\_\_\_ )

1 3) 医科麻酔科研修のカリキュラムについてお答えください。

- a) 派遣元病院の指導者と協議して作成
- b) 独自に作成
- c) 作成していない
- d) その他 ( \_\_\_\_\_ )



- 1 4) 研修中の歯科医師が麻酔を担当する手術の種類についてお答えください(複数回答可)。
- a) 歯科医師が執刀する手術
  - b) 口腔外科領域の手術
  - c) 顔面頸部手術
  - d) 脳外科手術
  - e) 胸部外科手術(心臓外科手術以外)
  - f) 心臓外科手術
  - g) 腹部外科手術
  - h) 整形外科手術
  - i) 産婦人科手術
  - j) 泌尿器科手術
  - k) 形成外科手術
  - l) その他( \_\_\_\_\_ )

1 5) 歯科医師が麻酔研修を行うことに関する患者への説明と同意についてお答えください。

(1) 誰が行いますか。

- a) 指導医(指導補助医)と歯科医師が同席して。
- b) 指導医(指導補助医)が単独で。
- c) 歯科医師が単独で。
- d) 説明と同意を行わない。
- e) その他( \_\_\_\_\_ )

(2) いつ行いますか。

- a) 手術前日かそれ以前に行われる術前回診の場で。
- b) 手術当日に病棟で。
- c) 手術当日に手術室で。
- d) その他( \_\_\_\_\_ )

(3) どのように行いますか。

- a) 当該症例について歯科医師が麻酔研修を行うと記載された同意書を用いて行う。
- b) 一般論として貴施設では歯科医師が麻酔研修を行っているとして記載された説明書を用い、かつ当該症例で歯科医師が麻酔研修を行うことを口頭で説明して同意を得る。
- c) 一般論として貴施設では歯科医師が麻酔研修を行っているとして記載された説明書を用い、しかし当該症例で歯科医師が麻酔研修を行うことを口頭で説明せずに同意を得る。
- d) 一般論として貴施設では歯科医師が麻酔研修を行っていることを口頭で説明し、かつ当該症例で歯科医師が麻酔研修を行うことを口頭で説明して同意を得る。
- e) 一般論として貴施設では歯科医師が麻酔研修を行っていることを口頭で説明し、しかし当該症例で歯科医師が麻酔研修を行うことを口頭で説明せずに同意を得る。
- f) 歯科医師が麻酔研修を行うことを説明しない。
- g) その他( \_\_\_\_\_ )

- 1 6) 研修症例の術前回診についてお答えください(複数回答可)。
- a) 研修を受ける歯科医師が指導医(指導補助医)とともに行う。
  - b) 指導医(指導補助医)が単独で行い、研修を受ける歯科医師は行わない。
  - c) 研修を受ける歯科医師が単独で行い、指導医(指導補助医)に報告して承認を得る。
  - d) 研修を受ける歯科医師が単独で行い、指導医(指導補助医)には報告しない。
  - e) その他( \_\_\_\_\_ )
- 1 7) 研修症例の術前の全身状態評価と麻酔管理方針の決定についてお答えください(複数回答可)。
- a) 手術当日の朝にスタッフ全員のミーティング形式で行う。
  - b) 手術当日の朝に指導医と研修を受ける歯科医師とが個別に行う。
  - c) 手術前日にスタッフ全員のミーティング形式で行う。
  - d) 手術前日に指導医と研修を受ける歯科医師とが個別に行う。
  - e) 研修を受ける歯科医師が単独で行う。
  - f) その他( \_\_\_\_\_ )
- 1 8) 研修症例の全身麻酔中の指導医(指導補助医)の指導についてお答えください。
- (1) 麻酔導入および気管挿管等
- a) マンツーマンで直接的に指導する。
  - b) 継続的に監視しながら指導医が必要だと判断した時点で指導する。
  - c) 断続的に監視しながら研修を受ける歯科医師の求めに応じて指導する(並列での指導等を含む)。
  - d) ひとりで行わせる。
  - e) その他( \_\_\_\_\_ )
- (2) 手術中の薬物投与
- a) マンツーマンで直接的に指導する。
  - b) 継続的に監視しながら指導医が必要だと判断した時点で指導する。
  - c) 断続的に監視しながら研修を受ける歯科医師の求めに応じて指導する(並列での指導等を含む)。
  - d) ひとりで行わせる。
  - e) その他( \_\_\_\_\_ )
- (3) 麻酔覚醒および抜管等
- a) マンツーマンで直接的に指導する。
  - b) 継続的に監視しながら指導医が必要だと判断した時点で指導する。
  - c) 断続的に監視しながら研修を受ける歯科医師の求めに応じて指導する(並列での指導等を含む)。
  - d) ひとりで行わせる。
  - e) その他( \_\_\_\_\_ )

(4) その他の麻酔管理全般

- a) 導入から覚醒・抜管までの全過程をマンツーマンで直接的に指導する。
- b) 導入・覚醒および手術中の折々の時期に指導する。
- c) 導入・覚醒を中心として手術中は研修を受ける歯科医師の求めに応じて指導する。  
(研修歯科医からの要請がなければ研修を受ける歯科医師の判断に任せる)
- d) 導入・覚醒も含め研修を受ける歯科医師によってはひとりで行わせる。
- e) その他 ( \_\_\_\_\_ )

1 9) 研修を受ける歯科医師が担当した症例の麻酔記録についてお答えください。

- a) 研修を受ける歯科医師の氏名が先頭でその後に指導医（指導補助医）の氏名が記載される。
- b) 指導医（指導補助医）の氏名が先頭でその後に研修を受ける歯科医師の氏名が記載される。
- c) 研修を受ける歯科医師の氏名のみが記載される。
- d) 指導医（指導補助医）の氏名のみが記載される。
- e) その他 ( \_\_\_\_\_ )

2 0) 研修症例の術後回診についてお答えください（複数回答可）。

- a) 原則として手術翌日に、研修を受ける歯科医師と指導医（指導補助医）が行う。
- b) 原則として手術翌日に、指導医（指導補助医）が単独で行う。
- c) 原則として手術翌日に、研修を受ける歯科医師が単独で行い、指導医（指導補助医）に報告する。
- d) 原則として手術翌日に、研修を受ける歯科医師が単独で行い、指導医（指導補助医）には報告しない。
- e) その他 ( \_\_\_\_\_ )

2 1) 研修する歯科医師の個人差または出身医局（歯科麻酔科か口腔外科かなど）によって研修内容に差をつけていますか（複数回答可）。

- a) 研修歯科医の個人差によって研修内容に差をつけている。
- b) 出身医局によって研修内容に差をつけている。
- c) 研修内容には差をつけていない。
- d) その他 ( \_\_\_\_\_ )

2 2) 医科麻酔科研修を修了した歯科医師の研修記録の作成・保管についてお答えください。

- a) 作成・保管している。  
(保管施設： \_\_\_\_\_ )
- b) 作成・保管していない。

2 3) 歯科医師の医科麻酔科研修に対する指導は日常業務の中でどのような影響がありますか。

- a) かなり業務を圧迫する（歯科医師が麻酔を行うことで、自身が他の業務に割ける時間がかなり減る）。
- b) やや業務を圧迫する（歯科医師が麻酔を行うことで、自身が他の業務に割ける時間がやや減る）。
- c) どちらでもない。
- d) やや業務を楽にする（歯科医師が麻酔を行うことで、自身が他の業務に割ける時間がやや増える）。
- e) かなり業務を楽にする（歯科医師が麻酔を行うことで、自身が他の業務に割ける時間がかなり増える）。
- f) その他（\_\_\_\_\_）

2 4) 歯科医師の医科麻酔科研修における患者への責任の所在についてどのようにお考えですか。

- a) 研修を受ける歯科医師にすべての責任がある。
- b) 指導医（指導補助医）にすべての責任がある。
- c) 研修を受ける歯科医師と指導医（指導補助医）の両者に責任があるが、研修を受ける歯科医師の責任が大きい。
- d) 研修を受ける歯科医師と指導医（指導補助医）の両者に責任があるが、指導医（指導補助医）の責任が大きい。
- e) 研修を受ける歯科医師と指導医（指導補助医）の両者に等しい責任がある。
- f) その他（\_\_\_\_\_）

2 5) 歯科医師の医科麻酔科研修の意義についてご意見をお聞かせください。

26) 現行の「歯科医師の医科麻酔科研修のガイドライン」についての問題点や解決すべき点についてご自由にご記入ください。

27) 歯科医師の医科麻酔科研修に関するその他の問題点や解決すべき点についてご自由にご記入ください。

ご協力有り難うございました。

## アンケート集計・解析結果（歯科医師受け入れ施設）

	0名	1名	2名	3名	4名	5名	6名	7名	8名	9名	10名	11名以上
教授	6	64	5	2	2	0	0	0	0	0	0	0
准教授	8	36	24	5	1	1	1	0	0	0	0	0
講師	8	20	26	18	3	2	0	1	1	0	0	0
助教	1	7	6	5	7	7	12	7	6	4	4	14
医員	10	5	7	6	5	11	3	1	4	3	3	11
大学院生	13	14	14	10	5	3	4	1	1	0	0	1
研究生	26	10	3	5	1	2	1	0	0	0	0	1
非常勤講師	21	4	8	5	8	2	2	1	1	0	0	11
その他	26	5	4	3	2	2	3	0	2	0	0	1

### 講座の構成員

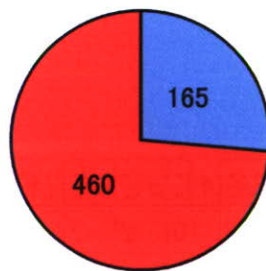
	0名	1名	2名	3名	4名	5名	6名	7名	8名	9名	10名	11名以上
部科長	18	328	70	17	10	2	2	0	0	0	2	20
医長	67	162	62	36	16	10	1	3	1	0	2	9
医員	86	116	51	37	24	13	14	1	6	2	2	19

### 診療科の構成員

	0名	1名	2名	3名	4名	5名	6名	7名	8名	9名	10名	11名	12名	13名	14名	15名	16名	17名	18名	19名	20名以上
常勤者	0	94	129	67	61	52	30	18	12	17	13	9	8	6	5	4	1	2	3	2	42
常勤医師	3	83	121	65	54	51	26	19	16	13	17	8	7	5	6	3	2	0	4	3	35
常勤歯科医師	344	33	21	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

	0名	1名	2名	3名	4名	5名	6名	7名	8名	9名	10名	11名以上
医科麻酔科学会指導医	28	219	138	48	32	23	8	5	6	4	7	11
日本麻酔科学会専門医	61	181	78	43	20	16	11	7	6	3	4	17
日本麻酔科学会認定医	135	97	41	19	15	7	5	7	4	1	1	14
麻酔科標榜医	109	68	67	22	28	15	13	9	5	2	5	26
医科麻酔科研修歯科医師	285	66	17	5	2	1	0	0	0	0	0	0

### 施設の概要

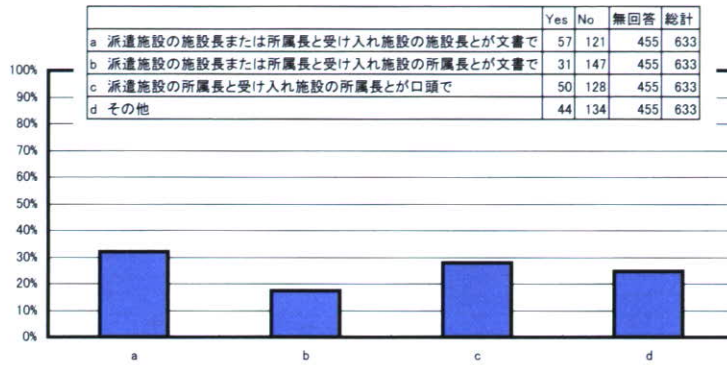


■ある ■ない

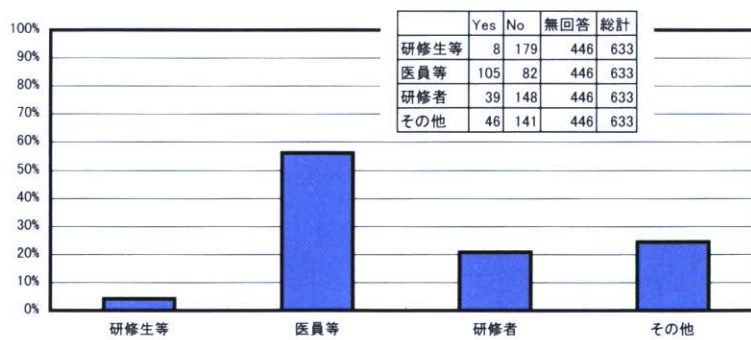
回答数=625

### 過去5年間の研修受け入れ実績

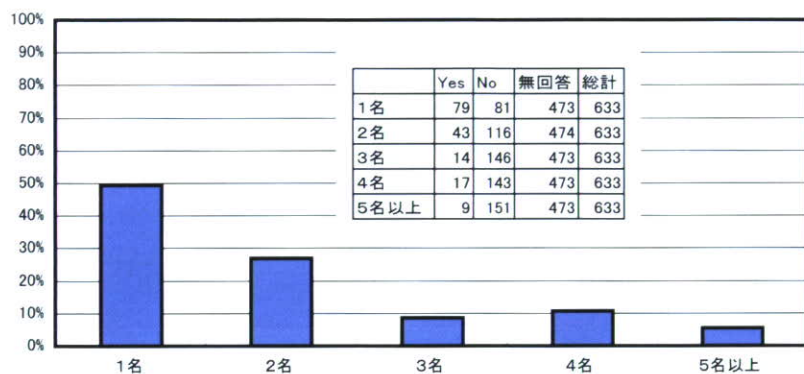




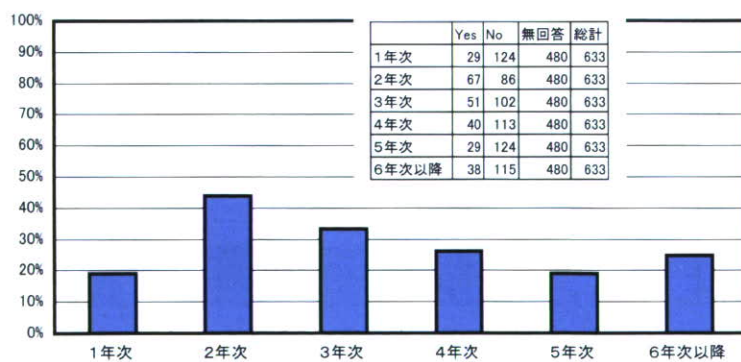
研修願の提出方法



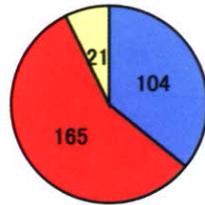
医科麻酔科研修を受ける歯科医師の立場



1年間の平均研修歯科医師数



医科麻酔科研修の開始年次

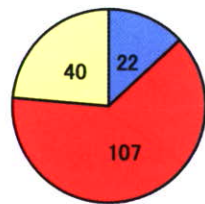


■ a ■ b ■ c

a	一定水準に達しているが、研修により更なる知識・技能の向上が期待できるレベル
b	基本的な知識・技能を有しているが、初歩からの研修が望ましいレベル
c	厳格な指導・監督が必要と思われるレベル

回答数=290

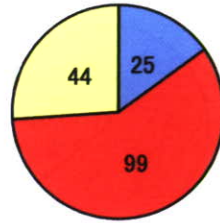
### 研修開始時のレベル



■ かなりできる ■ ふつう ■ かなりできない

回答数=169

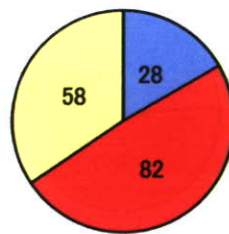
### 全身状態評価



■ かなりできる ■ ふつう ■ かなりできない

回答数=168

全身管理の基本的知識・技能



■ かなりできる ■ ふつう ■ かなりできない

回答数=168

全身麻酔